

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	リスニング編 Part1 写真描写問題	リスニング力の向上
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	リスニング編 Part2 応答問題	リスニング力の向上
学 年	2学年	担当教員	阿部/皆川	3	リスニング編 Part3 会話問題	リスニング力の向上
科 目 名	English Strategy TOEIC650突破	時間数	102単位時間	4	リスニング編 Part4 説明文問題	リスニング力の向上
開講期間	通年	授業形態	対面授業	5	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
使用テキスト名	公式TOEIC Listening & Reading プラクティス リスニング編、リーディング編			6	リーディング編 Part5 短文穴埋め問題	リーディング力の向上
補助教材	公式TOEIC Listening & Reading 6・7			7	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
				8	リーディング編 Part6 長文穴埋め問題	リーディング力の向上
科目概要と科目到達目標				9	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
TOEIC350点から500点の学生を対象に、650点突破を目指す。				10	リーディング編 Part7 読解問題	リーディング力の向上
				11	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				12	TOEIC模擬テスト	総合的な得点力の向上
				13	評価	まとめテスト
				14	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
授業の進め方・学習方法・課題				15	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
リスニングとリーディングを交互に取り混ぜ、単語力強化のため				16	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
毎日単語チェックを行う。				17	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
また、集中力を持続させ受験できるように授業時間に時間を意識させ				18	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
問題を解くように促す。				19	TOEICテスト公式問題集 6 Test 1	総合的な得点力の向上
対面授業と遠隔授業の併用実施				20	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
評価方法・成績評価基準				21	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
				22	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
①定期試験50% ②TOEIC公開テストスコア20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				23	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
【成績評価基準】				24	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				27	TOEICテスト公式問題集 6 Test 2	総合的な得点力の向上
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	TOEIC公開テスト対策	公開テスト対策
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				30	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				31	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
実務経験教員の経歴				32	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				33	TOEICテスト公式問題集 7 Test 1	総合的な得点力の向上
				34	評価	まとめテスト

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検準2級総合対策P2～13 英検準2級英単語1550EX P3～13	10月受験対策
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	英検準2級英単語1550 P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	2学年	担当教員	坂上/小林/寺田	3	英検準2級過去問題集2019年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検準2級	時間数	102単位時間	4	英検準2級総合対策P14～24 2級過去問題2017長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	準2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検準2級過去問題集 英検準2級英単語1550			6	長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検準2級総合対策			7	英検準2級対策P25～35 準2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
科目概要と科目到達目標 読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し準2級取得を目指す				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
				9	英検準2級対策P36～46 準2級過去問題集2020年第1回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト英検準2級英単語1550 P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検準2級対策P47～57 準2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P36～46	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題 レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策を定期的に行う 対面授業と遠隔授業の併用実施				14	英検準2級総合対策P58～68 2級過去問題集2020年第1回	10月受験対策
				15	英検準2級総合対策P69～79 準2級過去問題集2020年第1回解説	10月受験対策
				16	短文暗唱テスト 英検準2級英単語1550 P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				19	英検準2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
評価方法・成績評価基準 ①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
				21	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P58～68	10月受験対策
				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検準2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検準2級総合対策P113～123 解答解説準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				26	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P69～79	1月受験対策
				27	英検準2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検準2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P80～90	1月受験対策
				31	英検準2級対策P146～156 解答解説 準2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				32	短文暗唱テスト8文 英検準2級英単語1550 P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	単熟語テスト100問 長文和訳テスト	1月受験対策

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	英検2級総合対策P3～13 出る順で最短合格単熟語EX P3～13	10月受験対策
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	出る順で最短合格単熟語EX P14～24 リスニング30問	10月受験対策
学年	2学年	担当教員	小林 / 寺田	3	英検2級過去問題集2015年第1回 解答解説	10月受験対策
科目名	English Strategy 英検2級	時間数	102単位時間	4	英検2級総合対策P14～24 2級過去問題2019長文解答	10月受験対策
開講期間	通年	授業形態	対面授業/オンライン	5	2級過去問題集2019年第2回 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
使用テキスト名	2021年度版 英検2級過去問題集 出る順で最短合格単熟語EX			6	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング暗唱テスト	10月受験対策
補助教材	英検2級総合対策			7	英検2級対策P25～35 2級過去問題2019年第2回長文解説	10月受験対策
科目概要と科目到達目標				8	短文暗唱テスト8文 単熟語テスト100問	10月受験対策
読む、書く、聞く、話すの4技能を習得し2級取得を目指す				9	英検2級対策P36～46 2級過去問題集2019年第3回解答	10月受験対策
				10	短文暗唱テスト出る順で最短合格単熟語EX P25～35解答	10月受験対策
				11	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				12	英検2級総合対策P47～57 2級過去問題集	10月受験対策
				13	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P36～46	10月受験対策
				14	英検2級総合対策P58～68 2級過去問題集2019年第2回	10月受験対策
授業の進め方・学習方法・課題				15	英検2級総合対策P69～79 2級過去問題集	10月受験対策
レベルに合わせたクラス分けにより、語彙、センテンス、リーディングから読解法をマスターさせる リスニング対策 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	短文暗唱テスト 出る順で最短合格単熟語EX P47～57解説	10月受験対策
				17	単熟語テスト100問 長文和訳テスト 暗唱テスト	10月受験対策
				18	英検2級総合対策P80～90解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				19	英検2級総合対策P91～101 解答解説 リスニング30問	10月受験対策
				20	TOEIC公開テスト対策	10月受験対策
評価方法・成績評価基準				21	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P58～68	10月受験対策
①英検合格50% ② 定期テスト20% ③ 課題提出率20% ⑤ 授業態度10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニングテスト	1月受験対策
				23	英検2級総合対策P102～112	1月受験対策
				24	英検2級総合対策P113～123 解答解説2級過去問題単語テスト	1月受験対策
				25	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング 暗唱テスト	1月受験対策
				26	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P69～79	1月受験対策
				27	英検2級総合対策P124～134 解答解説	1月受験対策
				28	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				29	英検2級総合対策P135～145 解答解説	1月受験対策
				30	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P80～90	1月受験対策
				31	英検2級対策P146～156 解答解説 2級過去問題単語テスト	1月受験対策
実務経験教員の経歴				32	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P91～101	1月受験対策
				33	単熟語テスト100問 長文和訳テスト リスニング短文暗唱テスト	1月受験対策
				34	短文暗唱テスト8文 出る順で最短合格単熟語EX P102～112	1月受験対策

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	PART1 基礎編「助詞」	文法の基礎の復習・強化
学年	2学年	担当教員	古沢通子	2	PART1 基礎編「副詞」	文法の基礎の復習・強化
科目名	日本語検定対策(N1・N2・N3)	時間数	136単位時間	3	PART1 基礎編「接続詞」	文法の基礎の復習・強化
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	PART1 基礎編「敬語」	文法の基礎の復習・強化
使用テキスト名	日本語能力試験 N2文法 必修パターン			5	「N3文型」の復習	文法の基礎の復習・強化
補助教材	全科目攻略！ JLPT日本語能力試験ベスト総合問題集 パワーポイント スライド			6	「N3文型」の復習	文法の基礎の復習・強化
科目概要と科目到達目標				7	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
7月 日本語能力試験3級合格				8	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
12月 日本語能力試験2級合格				9	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
授業の進め方・学習方法・課題				10	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
①文法の用法について講義を行う ②練習問題を解く				11	振り返り	試験に向けた総合力の強化
				12	振り返り	試験に向けた総合力の強化
				13	テスト	知識定着の確認
				14	PART2 対策編「N2文型」の整理	問題パターンの理解・解法の攻略
				15	PART2 対策編「N2文型」の整理	問題パターンの理解・解法の攻略
				16	PART2 対策編「N2文型」の整理	問題パターンの理解・解法の攻略
				17	PART2 対策編「言葉をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
				18	PART2 対策編「言葉をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
				19	PART2 対策編「文をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
				20	PART2 対策編「文をつなぐ練習」	問題パターンの理解・解法の攻略
評価方法・成績評価基準				21	PART2 対策編「実践練習 問題7」	問題パターンの理解・解法の攻略
①定期試験40% ②JLPT基準級の合格30% ③授業への積極的参加20% ④提出物10%				22	PART2 対策編「実践練習 問題8」	問題パターンの理解・解法の攻略
【成績評価基準】				23	PART2 対策編「実践練習 問題9」	問題パターンの理解・解法の攻略
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	PART3 模擬試験	実力の確認
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	模擬試験	試験に向けた総合力の強化
実務経験教員の経歴				29	テスト	知識定着の確認
				30	総合問題集	総合力強化
				31	総合問題集	総合力強化
				32	総合問題集	総合力強化
				33	総合問題集	総合力強化
				34	総合問題集	総合力強化

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	問題24～27「個人情報」聴読解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
学年	2学年	担当教員	丹田充	2	問題28～30「顧客満足度調査」聴解・聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
科目名	BJTビジネス日本語対策Ⅰ	時間数	68単位時間	3	問題31～33「出張」聴読解・聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
開講期間	通年	授業形態	オンライン授業	4	問題34～35「販売員増員の提案」聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
使用テキスト名	ビジネス日本語オール・イン・ワン/BJTビジネス日本語能力テスト	聴解・聴読解/読解		5	問題36～37「パッケージ案」聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
補助教材	PDF教材			6	問題38～42「インタビュー」聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
科目概要と科目到達目標				7	問題43～44「日程調整」聴解・読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
ビジネス日本語力(日本語能力・コミュニケーション能力)の向上 N1クラスーJ1取得、N2クラスーJ2取得、N3クラスーJ3取得				8	問題45～46「衣料品業界」聴解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
				9	問題47～48「展示会」読解・聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
				10	問題49～50「業務フローチャート」聴読解	ビジネスシーンを理解しビジネス日本語の基礎を作る
				11	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第1部 セクション1・2	ビジネス日本語力の向上
				12	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第1部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				13	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第1部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				14	テスト	知識定着の確認
授業の進め方・学習方法・課題				15	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション1	ビジネス日本語力の向上
①問題を解く→②スクリプトの内容・語彙の穴埋め→③解答を確認→④内容を全体でもう一度確認する				16	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション1	ビジネス日本語力の向上
				17	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				18	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				19	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				20	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
評価方法・成績評価基準				21	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション2	ビジネス日本語力の向上
①定期試験40% ②BJT基準級の合格30% ③授業への積極的参加20% ④提出物10%				22	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
【成績評価基準】				23	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	BJT実力養成問題集 聴解・聴読解 第2部 セクション3	ビジネス日本語力の向上
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	BJT実力養成問題集 読解 セクション1	ビジネス日本語力の向上
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	BJT実力養成問題集 読解 セクション1	ビジネス日本語力の向上
				29	テスト	知識定着の確認
実務経験教員の経歴				30	BJT実力養成問題集 読解 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				31	BJT実力養成問題集 読解 セクション2	ビジネス日本語力の向上
				32	BJT実力養成問題集 読解 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				33	BJT実力養成問題集 読解 セクション3	ビジネス日本語力の向上
				34	BJT実力養成問題集 読解 セクション3	ビジネス日本語力の向上

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	おもてなしの心構え	おもてなしの知識を理解する
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	ご案内の仕方・実習	おもてなしの知識を理解する
学年	2学年	担当教員	古沢通子	3	誘導のやり方	おもてなしの知識を理解する
科目名	ビジネス日本語Ⅱ(おもてなし会話)	時間数	17単位時間	4	誘導実習(通路・階段・エレベーター)	おもてなしの心を身につける
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	お客様に確認する仕方・実習	おもてなしの心を身につける
使用テキスト名	おもてなしの日本語 基本編			6	一歩進んだ対応の実習	おもてなしの心を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			7	要望に応える実習	おもてなしの心を身につける
				8	迅速に応える実習(電話)	おもてなしの心を身につける
科目概要と科目到達目標				9	傾聴について	おもてなしの知識を理解する
「おもてなし」とはどのようなものかを理解することができる。				10	クッション言葉	おもてなしの知識を理解する
「おもてなし」の心を日本語で表現できるようになる。				11	お客様対応のポイント(言葉遣い)	おもてなしの知識を理解する
				12	うっかりミス予防策	おもてなしの知識を理解する
				13	お食事提供	おもてなしの知識を理解する
				14	お食事提供(実習)	おもてなしの心を身につける
授業の進め方・学習方法・課題				15	「最高のおもてなし」について考える	おもてなしについて自分の考えをまとめる
「おもてなし」についての知識を学び、実習を行う				16	「最高のおもてなし」について発表する	みんなの考える「おもてなし」を共有する
				17	テスト	知識定着の確認
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 10% ④学習意欲 20%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	クレーム対応の重要性・傾聴について	クレーム対応の重要性を学ぶ
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	基本練習(傾聴)	傾聴について理解する
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	ロールプレイ(傾聴)	傾聴を身につける
科 目 名	ビジネス日本語Ⅱ(クレーム対応)	時間数	17単位時間	4	クレームを聴く	クレームを聴くことを学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	基本練習(クレームを聴く)	クレームを聴く姿勢の練習をする
使用テキスト名	おもてなしの日本語			6	ロールプレイ(クレームを聴く)	クレームを聴く姿勢を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			7	代案について	代案について学ぶ
				8	基本練習(代案)	代案のやり方の練習をする
科目概要と科目到達目標				9	ロールプレイ(代案)	代案のやり方を身につける
お客さまのクレームを傾聴し、丁寧に謝罪することができる				10	提案について	提案について学ぶ
お客さまのクレームに対し、柔軟かつ迅速に対応することができる				11	基本練習(提案)	提案のやり方の練習をする
				12	ロールプレイ(提案)	提案のやり方を身につける
				13	要望に応えられないとき	要望に応えられない場合の対処法を学ぶ
				14	基本練習(要望に応えられないとき)	要望に応えられない場合の対処法を練習する
授業の進め方・学習方法・課題				15	ロールプレイ(要望に応えられないとき)	要望に応えられない場合の対処法を身につける
クレーム対応の仕方を座学で学ぶ				16	さまざまな謝罪	さまざまな謝罪について学ぶ
ロールプレイを行う				17	テスト	知識定着の確認
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 10% ④学習意欲 20%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	PowerPointの起動と終了、保存フォルダ作成	PowerPointの基本操作を覚える
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	PowerPointの画面	PowerPointの基本操作を覚える
学年	2学年	担当教員	古沢通子	3	スライドの追加と削除	PowerPointの基本操作を覚える
科目名	ビジネス文書Ⅱ (PowerPoint)	時間数	34単位時間	4	テンプレート	PowerPointの基本操作を覚える
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	スライドショー1	PowerPointの基本操作を覚える
使用テキスト名	留学生のためのWord/Excel/PowerPoint			6	スライドショー2	PowerPointの基本操作を覚える
補助教材	パワーポイント スライド			7	プレゼンテーションの保存	PowerPointの基本操作を覚える
科目概要と科目到達目標 日本企業で働く上で必要なスキルを身に付ける PowerPointの基本的な操作ができるようになる				8	プレゼンテーションの読み込み	PowerPointの基本操作を覚える
				9	スライドの印刷	PowerPointの基本操作を覚える
				10	練習問題	PowerPointの基本操作を覚える
				11	スライドのデザイン	PowerPointの応用操作を覚える
				12	画像の挿入1	PowerPointの応用操作を覚える
				13	画像の挿入2	PowerPointの応用操作を覚える
				14	図形やテキストボックスの挿入1	PowerPointの応用操作を覚える
授業の進め方・学習方法・課題 教科書を読み、パワーポイント使いを説明する PCにてPowerPointを使い課題を作成し、各々メールアドレスから添付して送付。 提出された課題を添削し、次回授業時に返却する				15	図形やテキストボックスの挿入2	PowerPointの応用操作を覚える
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				16	SmartArt	PowerPointの応用操作を覚える
				17	期末テスト	
				18	ヘッダーとフッター	PowerPointの応用操作を覚える
				19	オーディオの挿入	PowerPointの応用操作を覚える
				20	アニメーション効果1	PowerPointの応用操作を覚える
				21	アニメーション効果2	PowerPointの応用操作を覚える
				22	Excelとの連携1	PowerPointの応用操作を覚える
				23	Excelとの連携2	PowerPointの応用操作を覚える
				24	ビデオの利用1	PowerPointの応用操作を覚える
				25	ビデオの利用2	PowerPointの応用操作を覚える
				26	スライドを切り替える時の効果1	PowerPointの応用操作を覚える
				27	スライドを切り替える時の効果2	PowerPointの応用操作を覚える
				28	練習問題	PowerPointの応用操作を覚える
				29	プレゼンテーションプロジェクト選択	PowerPointを用いてプレゼンテーションを行う
				30	リサーチとスライドの作成1	PowerPointを用いてプレゼンテーションを行う
				31	リサーチとスライドの作成2	PowerPointを用いてプレゼンテーションを行う
				32	リサーチとスライドの作成3	PowerPointを用いてプレゼンテーションを行う
実務経験教員の経歴				33	プレゼンテーション発表	PowerPointを用いてプレゼンテーションを行う
				34	期末テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	3-2「内容を忘れることはありませんが…」	上司の指示に対する適切な返答を理解する
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	3-3「自分は悪くないのですが…」	注意に対する適切な返答について理解する
科 目 名	ビジネスコミュニケーションⅡ	時間数	34単位時間	4	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	3-4「友人と食事に行きましたが…」	退社時のマナーを理解する
使用テキスト名	留学生・日本で働く人のためのビジネスマナーとルール			6	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
補助教材	パワーポイント スライド			7	3-5「同僚の家族に不幸がありました…」	葬儀のマナーについて理解する
				8	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
科目概要と科目到達目標				9	3-6「職場でチョコレートを渡す人を見ますが…」	贈答のマナーについて理解する
課題達成能力、問題発見解決能力、異文化理解能力を高める				10	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
お互いの立場、考え方を理解する				11	3-7「箸の使い方を注意されましたが…」	食事のマナーについて理解する
				12	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
				13	3-8「ビールは自分でつげるのですが…」	お酒の席のマナーについて理解する
				14	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
授業の進め方・学習方法・課題				15	4-1「名刺交換のことを注意されましたが…」	名刺の扱い方について理解する
タスクを読む→その事例について考える→自分なりの考えを導き出す→発表→解説				16	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
				17	中間テスト	知識定着の確認
				18	4-2「よく自分のことを聞かれますが…」	仕事に役立つ雑談ができる
				19	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
				20	4-3「タクシーで移動することになりましたが…」	場所ごとの席次について理解する
評価方法・成績評価基準				21	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				22	4-4「お客さまを見送ったときに注意されましたが…」	適切な案内と見送りができる
【成績評価基準】				23	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	4-5お茶を出すように言われたのですが…」	お茶お出し方・飲み方について理解する
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	4-6「訪問先のビルの前で注意されましたが…」	訪問のマナーについて理解する
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	4-7お客さまがわかるように説明したのですが…」	営業活動の基本について理解する
				29	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
				30	4-8「自分の会社とは違うことを言われましたが…」	派遣・出向の基本について理解する
				31	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
実務経験教員の経歴				32	5-1「お客さまと敬語で話したのですが…」	正しい敬語の使い方について理解する
				33	自分の考えをグループで発表	意見を共有し理解を深める
				34	期末テスト	知識定着の確認

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	「商店街でみんな元気に(p88)」～考えてみよう～	商店街の置かれている状況について考え、自分の意見を伝える
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	「商店街でみんな元気に」～話し合ってみよう～	商店街の置かれている状況について考え、自分の意見を伝える
学年	2学年	担当教員	古沢通子	3	「商店街でみんな元気に」～話し合ってみよう2～	商店街の置かれている状況について考え、自分の意見を伝える
科目名	プレゼンテーション&ディスカッションⅡ	時間数	17単位時間	4	「街で見つけたおもしろいもの」	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	「街で見つけたおもしろいもの」～話し合ってみよう～	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
使用テキスト名	日本で学ぶ留学生のための中級日本語教科書 出会い			6	「街で見つけたおもしろいもの」～話し合ってみよう2～	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
補助教材	ビジネスコミュニケーションのためのケース学習 パワーポイント スライド			7	「街で見つけたおもしろいもの」～タスク～	街で見つけたものから日本文化について考え、自分の意見を伝える
科目概要と科目到達目標 自分の考えを日本語で伝えることができる 異なる文化・考えを持つ人のなかでも、人間関係をうまく維持することができる				8	「街で見つけたおもしろいもの」～発表の構成と表現を学ぶ～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				9	「街で見つけたおもしろいもの」～発表の構成と表現を学ぶ～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
授業の進め方・学習方法・課題 教材のトピックについてグループに分かれディスカッション、プレゼンテーションを行う				10	「街で見つけたおもしろいもの」～発表する～	聞き手に伝わりやすい発表について理解し、実践する
				11	『就活』を考える～考えてみよう～	日本の就活について考え、自分の意見を伝える
				12	『就活』を考える～話し合ってみよう～	日本の就活について考え、自分の意見を伝える
				13	『就活』を考える～話し合ってみよう2～	日本の就活について考え、自分の意見を伝える
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				14	Case2 私に任せられたはずなのに…	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				15	Case2 私に任せられたはずなのに…	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				16	Case2 私に任せられたはずなのに…	日本の職場での文化について考え、自分の意見を伝える
				17	テスト	知識定着の確認
				18		
				19		
				20		
				21		
				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	世界遺産を学ぶ意義・目的について	観光資源の中の位置づけと試験対策概要
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	世界遺産(国内)について①(動画視聴含)	訪れたい世界遺産
学 年	2学年	担当教員	矢後 達夫	3	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	佐渡金山(新潟県・県庁より派遣)
科 目 名	国内観光地理Ⅱ	時間数	34単位時間	4	世界遺産(国内)について②	前週テスト振り返り
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	世界遺産(国内)について③(動画視聴含)	前週テスト振り返り
使用テキスト名	はじめて学ぶ世界遺産100			6	人類の誕生と古代文明①	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
補助教材	日本の絶景365日・旅に出たくなる地図・パワーポイント スライド ・DVD			7	人類の誕生と古代文明②	ヨーロッパ文明のルーツを学ぶ
科目概要と科目到達目標				8	アジア世界の形成と宗教①	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
				9	アジア世界の形成と宗教②	アジア地域の文化や宗教の多様性を学ぶ
世界遺産の基礎知識と世界遺産の内容を理解を深め世界遺産検定の取得を目指す。 地理検定や国家試験での必須項目でもあるため国内の世界遺産を中心に知識定着を図る。 観光資源としての魅力度も高いため、深く探求することでツーリズムへの興味関心につなげる。 【世界遺産検定】7月・9月・12月・3月(年4回の実施だが、当科としては7月と12月とする)				10	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代①	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				11	ヨーロッパ中世とルネサンス、大航海時代②	中世ヨーロッパの文化や都市国家を学ぶ
				12	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動①	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
				13	特別講義)遺産登録を目指す自治体の実情を知る	新潟県佐渡や奄美沖繩の取り組みを学ぶ
				14	アメリカ、アフリカ、オセアニアの文明と東アジアの変動②	中年米やアフリカの遺跡を学ぶ
				15	近代国家の成立と世界の近代化①②	近代国家遺産と現代社会の繋がりを知る
				16	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				17	世界遺産(国内・世界)の履修範囲テスト	習熟度チェック
				18	特別講義)世界遺産登録の意味について学ぶ	観光資源と地域への影響度を知る
				19	世界遺産登録と地域との関わりについて①	観光資源と地域との関係性を知る
				20	世界遺産登録と地域との関わりについて②	観光資源と地域との関係性を知る
				21	世界遺産登録と地域との関わりについて③	観光資源と地域との関係性を知る
				22	世界遺産登録と地域との関わりについて④	観光資源と地域との関係性を知る
				①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない		
24	検定対策	実力判定				
25	検定対策	実力判定				
26	検定対策	実力判定				
27	世界遺産の魅力を知る①	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
28	世界遺産の魅力を知る②	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
29	世界遺産の魅力を知る③	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
30	世界遺産の魅力を知る④	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
31	世界遺産の魅力を知る⑤	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
32	世界遺産の魅力を知る⑥	動画視聴等を活用して遺産を探求する				
実務経験教員の経歴				33	世界遺産の魅力を知る⑦	動画視聴等を活用して遺産を探求する
				34	世界遺産の魅力を知る⑧	動画視聴等を活用して遺産を探求する
旅行会社にて、カウンターを含む旅行渉外営業、旅行企画手配、旅程作成、旅券書類作成、出入国書類作成、旅行傷害保険作成、添乗他、旅行に係わる実務経験 10年間						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	バイデン政権始動	報道に対する多面的な見方と理解
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	ヘイトクライム	報道に対する多面的な見方と理解
学 年	1学年	担当教員	阿部塊地/古沢通子	3	アフガニスタン動乱	報道に対する多面的な見方と理解
科 目 名	時事日本語 I	時間数	34単位時間	4	中国の支配が強まる香港	報道に対する多面的な見方と理解
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	一帯一路	報道に対する多面的な見方と理解
使用テキスト名	2022-2023年版 日本と世界の時事キーワード			6	岸田内閣誕生	報道に対する多面的な見方と理解
補助教材	パワーポイント スライド			7	改憲の論点	報道に対する多面的な見方と理解
				8	消費税	報道に対する多面的な見方と理解
科目概要と科目到達目標				9	民間宇宙開発	報道に対する多面的な見方と理解
報道されている海外や国内のニュースについて、報道内容に留まらず、あらゆるメディアを使用して深読みすることによって、隠されている問題の背景や原因をリサーチすることにより、多面的な見方を習得する。 また、就職活動時に活かせるよう一般知識としてニュース報道を学ぶ				10	スーパーシティ構想	報道に対する多面的な見方と理解
				11	新型コロナワクチン	報道に対する多面的な見方と理解
				12	GAFA(ガーファ)	報道に対する多面的な見方と理解
				13	SNSのメディア化	報道に対する多面的な見方と理解
				14	働き方改革	報道に対する多面的な見方と理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	外国人労働者	報道に対する多面的な見方と理解
個人で、あるいはグループで深読みをすることに概要をまとめる。自分の意見や感想を述べられるだけの材料を揃え、授業内で発表する。				16	子供の貧困	報道に対する多面的な見方と理解
対面授業と遠隔授業の併用実施				17	テスト	評価
				18	国際ニュース④	国際問題について知る
				19	国際ニュース⑤	国際問題について考える
				20	国際ニュース⑥	国際問題について意見を述べる
評価方法・成績評価基準				21	情報・科学④	情報・科学について知る
①出席率30% ②期末テスト30% ③課題提出40%				22	情報・科学⑤	情報・科学について考える
【成績評価基準】				23	情報・科学⑥	情報・科学について述べる
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	政治・経済④	政治・経済について知る
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	政治・経済⑤	政治・経済について考える
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	政治・経済⑥	政治・経済について述べる
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	社会・環境④	社会・環境について知る
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	社会・環境⑤	社会・環境について考える
				29	社会・環境⑥	社会・環境について述べる
				30	文化・スポーツ④	文化・スポーツについて知る
				31	文化・スポーツ⑤	文化・スポーツについて考える
実務経験教員の経歴				32	文化・スポーツ⑥	文化・スポーツについて述べる
				33	まとめ	
				34	後期テスト	

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	CASE1 まだ9時半です！	仕事のやり方の違いへの理解
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	CASE1 まだ9時半です！	仕事のやり方の違いへの理解
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	CASE2 私に任されたはずなのに……	仕事のやり方の違いへの理解
科 目 名	異文化コミュニケーションⅡ	時間数	17単位時間	4	CASE2 私に任されたはずなのに……	仕事のやり方の違いへの理解
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	CASE3 変更はできません	断り方の違いへの理解
使用テキスト名	ビジネスコミュニケーションのためのケース学習			6	CASE3 変更はできません	断り方の違いへの理解
補助教材	パワーポイント スライド			7	CASE4 なぜ期待は外れたの？	「当たり前」の考え方の違いへの理解
				8	CASE4 なぜ期待は外れたの？	「当たり前」の考え方の違いへの理解
科目概要と科目到達目標				9	CASE5 ほう・れん・そう！？	協働についての理解
仕事の現場で生じる問題を解決し、課題を達成している 人間関係をうまく維持しつつ仕事を進めていくことができる				10	CASE5 ほう・れん・そう！？	協働についての理解
				11	CASE6 中間の納品が大変！！	完成度の基準についての理解
				12	CASE6 中間の納品が大変！！	完成度の基準についての理解
				13	CASE7 完成度	完成度の基準についての理解
				14	CASE7 完成度	完成度の基準についての理解
授業の進め方・学習方法・課題				15	CASE8 もう動かさないで！	日本の会社における評価基準についての理解
教科書の本文・語彙リストの内容確認→タスクシート各自記入→グループ討論 →全体討論→振り返り				16	CASE8 もう動かさないで！	日本の会社における評価基準についての理解
				17	グループ発表	
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
【成績評価基準】				32		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				33		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				34		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	授業の到達目標について理解する
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	地域にあるSDGs問題①	自分の身の回りにあるSDGsの問題を考える
学年	2学年	担当教員	阿部/北村/古沢/矢後	3	地域にあるSDGs問題②	積極的に取り組んでいる地域企業やグループを調査
科目名	国際理解Ⅱ	時間数	68単位時間	4	地域にあるSDGs問題③	参加可能なイベントを調査
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	役割分担	役割分担を行い効率的な活動につなげる
使用テキスト名				6	地域の問題を解決するための行動とは①	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
補助教材	パワーポイント スライド			7	地域の問題を解決するための行動とは②	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
				8	地域の問題を解決するための行動とは③	どう行動すべきかを学び、どう実践すべきかを考える
科目概要と科目到達目標				9	イベント企画案や広報案の提示①	企業や自治体への働き掛け
SDGsの「未来を変える目標」を理解し、実現するためにはどのような行動をすべきか考える。				10	イベント企画案や広報案の提示②	企業や自治体への働き掛け
ゴール11「住み続けられるまちづくりを」を全校の共通課題テーマに設定し、				11	活動①	1回目 SDGs問題解決のための活動
「社会」「経済」「環境」の3要素を調和させた問題解決策を提案する。				12	活動②	1回目 SDGs問題解決のための活動
また、日本だけではなく世界各地の取り組みも取り上げ、日本と比較しながら				13	活動③	1回目 SDGs問題解決のための活動
世界の未来について自分が起こせるアクションを考え、行動していく。				14	活動の振り返り①	活動の問題提起 振り返り
授業の進め方・学習方法・課題				15	活動の振り返り②次回への提案	改善点の提起
前期では、新潟県のゴール11「住みやすいまちづくり」について、持続可能にするためには				16	活動④	2回目 SDGs問題解決のための活動
どのような工夫や行動が必要かグループで議論する。問題解決のための企業連携を模索する。				17	活動⑤	2回目 SDGs問題解決のための活動
後期では、前期で出てきた活動案を企業・団体と共に実行に移し、振り返りを行う				18	活動⑥	2回目 SDGs問題解決のための活動
PDCAサイクルを年間を通して意識し、グループワークを行う。				19	活動の振り返り③	活動の問題提起 振り返り
				20	活動の振り返り④次回への提案	改善点の提起
評価方法・成績評価基準				21	活動⑦	3回目 SDGs問題解決のための活動
				22	活動⑧	3回目 SDGs問題解決のための活動
①発表内容40% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物20% ④学習意欲10%				23	活動⑨	3回目 SDGs問題解決のための活動
【成績評価基準】				24	活動の振り返り⑤	活動の問題提起 振り返り
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				25	活動の振り返り⑥	改善点の提起
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				26	活動内容の報告、発表準備①	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				27	活動内容の報告、発表準備②	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				28	活動内容の報告、発表準備③	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				29	活動内容の報告、発表準備④	フィードバックからヒントをもらい更に発表内容を練っていく
				30	発表①	一年の活動報告
				31	発表振り返り	
実務経験教員の経歴				32	来年度への提言①	来年度の企画立案
				33	来年度への提言②	来年度の企画立案
				34	来年度への提言③	来年度の企画立案

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	SUCCESS P6～P11 就職活動の心構え ①なぜ就職するのか②企業が求める人材とは③身だしなみ	就職活動についての基本知識
学年	2学年	担当教員	桑野知実/矢後達夫	2	SUCCESS P12～P16就職活動の心構え①就職活動の流れ②就職活動のルールと諸注意③求職登録について	就職活動についての基本知識
科目名	就職実務Ⅱ	時間数	34単位時間	3	SUCCESS P17～P20 ①自分自身を知る②自己分析で考えるポイント	自己分析について理解と実習
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	SUCCESS P21 ①自己PRの作り方	自己分析について理解と実習
使用テキスト名	勝つための就職ガイドSUCCESS 最新最強の一般常識 最新最強のSPI			5	SUCCESS P24 ①現在までの自分史を作成しよう	自己分析について理解と実習
補助教材	パワーポイント スライド			6	SUCCESS P25 ①自己PR分の基本構成作成	自己分析について理解と実習
科目概要と科目到達目標 就職活動に必要な自己分析、書類作成、面接指導を行う				7	SUCCESS P27～29 ①職業を知る（業種と職種の理解）	自己分析について理解と実習
				8	SUCCESS P30～P31 志望動機 ①志望動機とは何か②基本パターン	志望動機について理解と実習
授業の進め方・学習方法・課題 自己分析や書類作成は学生の書いたものを教師が添削指導行う。 面接指導は模擬面接を通して、何をどう話すべきかを学生みんなで考える。 対面授業と遠隔授業の併用実施				9	SUCCESS P32～P34 志望動機 ①志望動機作成ワークシート(専門職、営業)	志望動機について理解と実習
				10	SUCCESS P35～P37情報収集のポイント ①職種企業を絞り込むには	企業研究の方法を理解する
				11	SUCCESS P38～P39企業研究の方法 ①就職課の利用②就職情報サイトの利用 ③就職情報誌について	企業研究の方法を理解する
				12	SUCCESS P40～P41 就活における電子メール使用の注意点 ①企業へのメールの書き方②返信の文例	企業研究の方法を理解する
				13	SUCCESS P42 facebook twitterの活用について	企業研究の方法を理解する
				14	SUCCESS P43～P44 資料請求の仕方(はがきの場合、メールで請求の場合)	企業研究の方法を理解する
				15	SUCCESS P45 お礼状の書き方①メールの場合②手紙の場合	企業研究の方法を理解する
評価方法・成績評価基準 ①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				16	SUCCESS P46～48 求人票の見方①求人者②採用条件③勤務条件	企業研究の方法を理解する
				17	SUCCESS P49～50 インターンシップのしくみ ①インターンシップ体験の活かし方	企業研究の方法を理解する
				18	SUCCESS P51～P52 作成書類 ①エントリーシートとは②エントリーシートの書き方	エントリーシート作成方法と実習
				19	SUCCESS P53 作成書類 ①エントリーシートの入手時期と内容	エントリーシート作成方法と実習
				20	SUCCESS P54～55 作成書類 ①履歴書の書き方①記入事項のポイント	履歴書作成方法と実習
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				21	SUCCESS P56～P57 第一回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
				22	SUCCESS P56～P57 第二回作成書類 ①履歴書作成個人作業	履歴書作成方法と実習
				23	SUCCESS P58 応募書類の添え状について	履歴書作成方法と実習
				24	最新最強の一般常識 時事問題 政治 国際情勢	時事問題の理解
				25	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済の基礎知識の確認	時事問題の理解
				26	最新最強の一般常識 時事問題 経済①経済情勢を把握する	時事問題の理解
				27	最新最強の一般常識 時事問題 産業①産業界の分析②労働に関する法律	時事問題の理解
				28	最新最強の一般常識 時事問題 金融①金融用語の把握②金融商品	時事問題の理解
				29	最新最強の一般常識 時事問題 科学技術①コンピューター用語	時事問題の理解
				30	最新最強のSPI SPIの基礎知識 SPI適正検査とは	SPI対策
実務経験教員の経歴				31	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
				32	最新最強のSPI 非言語能力問題	SPI対策
				33	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策
				34	最新最強のSPI 言語能力問題	SPI対策

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	ガイダンス～コミュニケーションの必要性～	コミュニケーションの必要性を知る
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	Part1 コミュニケーション・セオリー(理論) Chapter1	コミュニケーションの理論を学ぶ
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	Chapter2 聞く力 目的に対して聞く 傾聴	傾聴を知り、身につける
科 目 名	ビジネスマナーⅡ	時間数	17単位時間	4	Chapter3 話す力 目的を意識する 話を組み立てる	目的を意識した話し方を身につける
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Chapter3 話す力 ことばを選び抜く 表現を伝達する	ことばの使い方を意識して話す
使用テキスト名	実践ビジネスマナー			6	Part2 コミュニケーション・プラクティス(実践)Chapter1	実践を通してコミュニケーションスキルを身につける
補助教材	コミュニケーション検定公式ガイドブック&問題集 パワーポイント スライド			7	Chapter1 来客応対 電話応対 アポイントメント・訪問・挨拶	社外とのコミュニケーションスキルを習得する
				8	Chapter1 情報共有の重要性 チーム・コミュニケーション	社内でのコミュニケーションスキルを習得する
科目概要と科目到達目標				9	Chapter2 接客・営業 クレーム対応	クレーム対応能力を高める
社会人としてふさわしいビジネスマナーを身につける				10	Chapter2 会議・取材・ヒアリング 面接	会議や面接での対応を学ぶ
社会人としてふさわしい心構えを身につける				11	SNS・Web面接	時代に即したコミュニケーションのマナーを覚える
コミュニケーション検定初級合格				12	問題演習①	知識定着の確認
				13	問題演習②	知識定着の確認
				14	問題演習③	知識定着の確認
授業の進め方・学習方法・課題				15	社会人として求められる資質、職場の基本的なマナー	仕事に取り組む心構えについて理解する
教科書を読み合わせて、説明する。				16	あいさつの基本、社会人としてふさわしい身だしなみ	社会人としての心構えについて理解する
お辞儀の仕方や来客応対などはビデオで撮影し、振り返りをする。				17	テスト	
ロールプレイを行い、実践していく。				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験 40% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 10% ④学習意欲 10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第4章 翻訳のプロセスと基本スキル3 ストラテジースキル	ストラテジースキルを学ぶ
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	ストラテジースキルとは	ストラテジースキルを学ぶ
学年	2学年	担当教員	古沢通子	3	想定読者を検討する	ストラテジースキルを学ぶ
科目名	ビジネス翻訳	時間数	17単位時間	4	想定読者に応じて訳し方を決める	ストラテジースキルを学ぶ
開講期間	前期	授業形態	対面・オンライン授業	5	スタイルガイドを読み込み、翻訳の下準備をする	ストラテジースキルを学ぶ
使用テキスト名	翻訳スキルハンドブック			6	用語集を活用する	ストラテジースキルを学ぶ
補助教材	パワーポイント スライド			7	トランスクリエーション	ストラテジースキルを学ぶ
				8	字幕翻訳のルールを知っておく	ストラテジースキルを学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	翻訳者の職業倫理	ストラテジースキルを学ぶ
「上手な訳し方」に関わるテクニックを身につける				10	第5章 翻訳プロセスと基本のスキル4-1【翻訳作業スタート編】	翻訳スキルを学ぶ
				11	翻訳スキルとは	翻訳スキルを学ぶ
				12	主部を表すさまざまな表現	翻訳スキルを学ぶ
				13	長過ぎる訳文を短くする	翻訳スキルを学ぶ
				14	「の」を多用しない	翻訳スキルを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	漢字が続いたら言い換えを検討する	翻訳スキルを学ぶ
原文分析→リサーチ→ストラテジ→翻訳				16	テスト	翻訳スキルを学ぶ
				17	振り返り	翻訳スキルを学ぶ
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 20% ④学習意欲 20% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第4章 ガインディング技術を磨く10のコツ	通訳ガイドの現状を知る
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	わかりやすい説明を目指す	通訳ガイドの現状を知る
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	「言い換え」「類似」「比較」を使う	通訳ガイドの現状を知る
科 目 名	通訳演習Ⅱ	時間数	34単位時間	4	日本に関する最新情報にアンテナを立てる	通訳ガイドの現状を知る
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	日本で今売れている自動車は？	通訳ガイドの現状を知る
使用テキスト名	通訳ガイドというおしごと			6	ニュースに接する時間を作る	通訳ガイドの現状を知る
補助教材	パワーポイント スライド			7	「なぜ」を大切に	通訳ガイドの現状を知る
				8	意外と必要な動植物の知識	通訳ガイドの現状を知る
科目概要と科目到達目標				9	花が咲いていなくても見分けたい木	通訳ガイドの現状を知る
通訳ガイドの仕事の現状を学び、ガイド演習を通して通訳方法を身につける				10	外国人が気になる動物	通訳ガイドの現状を知る
				11	お客様の国について調べておく	通訳ガイドの現状を知る
				12	知っておくとガインディングに役立つ	通訳ガイドの現状を知る
				13	国によって違う日本への関心テーマ	通訳ガイドの現状を知る
				14	ストーリーのあるガインディング	通訳ガイドの現状を知る
				15	ワクワク感を作る	通訳ガイドの現状を知る
授業の進め方・学習方法・課題				16	演習①	実地演習を行う
通訳ガイドの演習を通して通訳を実際に体験する→振り返り				17	演習①振り返り	実地演習を行う
				18	車窓の風景とからめて話す	通訳ガイドの現状を知る
				19	次に訪れる場所と連動させる	通訳ガイドの現状を知る
				20	それぞれの訪問場所で何を見るのかを明確に	通訳ガイドの現状を知る
				21	スルーガイド&スポットガイド	通訳ガイドの現状を知る
評価方法・成績評価基準				22	地域的な得意分野を作る	通訳ガイドの現状を知る
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23	特定の地域に詳しくなることのメリット	通訳ガイドの現状を知る
				24	アクティビティの得意分野を作る	通訳ガイドの現状を知る
				25	美術、アニメ、武道、ハイキング、登山	通訳ガイドの現状を知る
				26	点から面の知識にする	通訳ガイドの現状を知る
				27	多趣味は身を助ける	通訳ガイドの現状を知る
				28	英語以外の言語の習得	通訳ガイドの現状を知る
				29	仕事に幅が出る	通訳ガイドの現状を知る
				30	宗教、アレルギー 食への対応	通訳ガイドの現状を知る
				31	お客様のニーズに合った案内方法の研究	通訳ガイドの現状を知る
				32	お客様の国による大まかな傾向	通訳ガイドの現状を知る
実務経験教員の経歴				33	演習②	実地演習を行う
				34	演習②振り返り	実地演習を行う

【成績評価基準】
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している
C=良(79-70点) 到達目標を達成している
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	第6章 翻訳プロセスと基本のスキル4-2【完成までのブラッシュアップ編】	翻訳スキルを学ぶ
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	ひととおり訳したものをブラッシュアップする	翻訳スキルを学ぶ
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	「普段の言葉」で考える	翻訳スキルを学ぶ
科 目 名	翻訳演習Ⅱ	時間数	34単位時間	4	「要するに」と考えてみる	翻訳スキルを学ぶ
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	受身形の多用はNG	翻訳スキルを学ぶ
使用テキスト名	翻訳スキルハンドブック			6	feelの訳を一工夫する	翻訳スキルを学ぶ
補助教材	パワーポイント スライド			7	「言葉の組み合わせ」を考える	翻訳スキルを学ぶ
				8	一般化して訳す	翻訳スキルを学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	情報を明示化する	翻訳スキルを学ぶ
「上手な訳し方」に関わるテクニックを身につける				10	SWIHの訳し方	翻訳スキルを学ぶ
校正スキルである訳文の品質を、さらに高めるための技術を学ぶ				11	原文とは「逆の語順」で訳してみる	翻訳スキルを学ぶ
				12	UIの翻訳には最新の注意を払う	翻訳スキルを学ぶ
				13	翻訳はチーム作業である	翻訳スキルを学ぶ
				14	第7章 翻訳のプロセスと基本スキル5 校正スキル	校正スキルを身につける
授業の進め方・学習方法・課題				15	英数字や記号の表記を統一する	校正スキルを身につける
原文分析→リサーチ→ストラテジー→翻訳→校正				16	テスト	
				17	ケアレミスを避ける	校正スキルを身につける
				18	長過ぎる主部は短くする	校正スキルを身につける
				19	フォントに関する注意点	校正スキルを身につける
				20	訳抜け防止のヒント	校正スキルを身につける
評価方法・成績評価基準				21	「柔らかな表現」というテクニック	校正スキルを身につける
①定期試験 % ②授業への積極的参加(出席率) % ③提出物 % ④学習意欲 %				22	読点のプロを指す	校正スキルを身につける
【成績評価基準】				23	主語と述部の関係を明確にする	校正スキルを身につける
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	就職後の位置を検討する	校正スキルを身につける
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	言葉のニュアンスを意識する	校正スキルを身につける
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	文章のスタイルをそろえる	校正スキルを身につける
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	重要な情報はなるべく前に	校正スキルを身につける
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	文章の硬さ/柔らかさを整える	校正スキルを身につける
				29	二重表現を調整する	校正スキルを身につける
				30	訳語を統一する	校正スキルを身につける
				31	固有名詞の訳に注意する	校正スキルを身につける
実務経験教員の経歴				32	二重否定は肯定文に変える	校正スキルを身につける
				33	ウェブサイトのタイトル訳を統一する	校正スキルを身につける
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	同時通訳、逐次通訳の違い	同時通訳の基本的なことを学ぶ
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	ウイスパリングについて	同時通訳の基本的なことを学ぶ
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	各シチュエーションごとの留意点	同時通訳の基本的なことを学ぶ
科 目 名	同時通訳	時間数	17単位時間	4	会議での同時通訳	同時通訳の基本的なことを学ぶ
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	交渉時での同時通訳	同時通訳の基本的なことを学ぶ
使用テキスト名	自作PowerPointスライド、各メディア媒体			6	ガイド案内	同時通訳の基本的なことを学ぶ
補助教材	パワーポイント スライド			7	予約、アポイント取り	同時通訳の基本的なことを学ぶ
				8	病院	同時通訳の基本的なことを学ぶ
科目概要と科目到達目標				9	食事・テーブルマナー	同時通訳の基本的なことを学ぶ
同時に訳す訓練をして、瞬時に訳せるようになる				10	空港での換金	同時通訳の基本的なことを学ぶ
				11	ホテルチェックイン	同時通訳の基本的なことを学ぶ
				12	空港チェックイン	同時通訳の基本的なことを学ぶ
				13	チェックアウト	同時通訳の基本的なことを学ぶ
				14	クレーム対応 空港編	同時通訳の基本的なことを学ぶ
				15	クレーム対応 ホテル編	同時通訳の基本的なことを学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				16	クレーム対応 買い物編	同時通訳の基本的なことを学ぶ
本や各メディア媒体を用い英語から日本語訳、日本語から英語訳を行い、発表。適宜フィードバックを行う ロールプレイを多用し、適宜フィードバックを行う				17	期末テスト	
				18		
				19		
				20		
				21		
評価方法・成績評価基準				22		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 40% ③提出物 20% ④学習意欲 10%				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
				32		
【成績評価基準】				33		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				34		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している						
C=良(79-70点) 到達目標を達成している						
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している						
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	貿易のしくみをしる	貿易の基本を知る
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	貿易実務とは	貿易の基本を知る
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	輸出者(輸出企業)	貿易の基本を知る
科 目 名	貿易(実務)	時間数	34単位時間	4	輸入車(輸入企業)	貿易の基本を知る
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	船会社・NVOCC	貿易の基本を知る
使用テキスト名	マンガでわかる貿易実務のきほん			6	航空会社・混載業者	貿易の基本を知る
補助教材	パワーポイント スライド			7	通関業者・税関	貿易の基本を知る
科目概要と科目到達目標 輸出・輸入について学び、就職後貿易実務を実践的に使用できるようになる。				8	海貨業者・倉庫会社	貿易の基本を知る
				9	ドレー会社・検量機関	貿易の基本を知る
授業の進め方・学習方法・課題 テキストに従って進めるととも、書類を作成していく。				10	銀行・保険会社	貿易の基本を知る
				11	決算状況を決める	貿易の基本を知る
評価方法・成績評価基準 ①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				12	貿易条件を決める	貿易の基本を知る
				13	数量条件を決める	貿易の基本を知る
				14	貿易取引にかかわる法律	貿易の基本を知る
				15	輸送方法の選定	貿易の基本を知る
				16	海上輸送の基本と種類	貿易の基本を知る
				17	コンテナ船による輸送	貿易の基本を知る
				18	海上運賃の仕組み	貿易の基本を知る
				19	航空輸送の基本と種類	貿易の基本を知る
				20	航空運賃のしくみ	貿易の基本を知る
				21	Invoice(送り状)について	実践的知識の習得
				22	サンプルInvoice作成	実践的知識の習得
				23	Packing List作成	実践的知識の習得
24	サンプルPacking List作成	実践的知識の習得				
25	工場からフォワーダー	実践的知識の習得				
26	通関手続きの基本	実践的知識の習得				
27	コンテナ船の船積み	実践的知識の習得				
28	コンテナの取り扱い	実践的知識の習得				
29	梱包・荷姿のポイント	実践的知識の習得				
30	B/Lの流れ	実践的知識の習得				
31	Air Waybillの流れ	実践的知識の習得				
実務経験教員の経歴				32	インコタームスによる保険証券の違い	実践的知識の習得
				33	オーダーフォームからInvoice/PL発行練習	実践的知識の習得
				34	オーダーフォームからInvoice/PL発行テスト	実践的知識の習得

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Invoice(送り状)について	実践的知識の習得
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	2	サンプルInvoice作成	実践的知識の習得
学 年	2学年	担当教員	古沢通子	3	Packing List作成	実践的知識の習得
科 目 名	貿易(通関)	時間数	34単位時間	4	サンプルPacking List作成	実践的知識の習得
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	5	工場からフォワーダー	実践的知識の習得
使用テキスト名	マンガでわかる貿易実務のきほん			6	通関手続きの基本	実践的知識の習得
補助教材	パワーポイント スライド			7	B/Lの流れ	実践的知識の習得
				8	Air Waybillの流れ	実践的知識の習得
科目概要と科目到達目標				9	インコタームスによる保険証券の違い	実践的知識の習得
輸出・輸入について学び、就職後貿易実務を実践的に使用できるようになる。 通関や海上保険等の各種書類の深掘りを行う				10	サレンダーB/Lの発行	実践的知識の習得
				11	通関手続きの基本	実践的知識の習得
				12	税関の審査1	税関、通関法を学ぶ
				13	税関の審査2	税関、通関法を学ぶ
				14	税関審査のポイント1	税関、通関法を学ぶ
授業の進め方・学習方法・課題				15	税関審査のポイント2	税関、通関法を学ぶ
PCを用いて実際の書類を作成、フィードバックを行う				16	税関検査とは	税関、通関法を学ぶ
				17	NACCSの仕組み	税関、通関法を学ぶ
				18	関税とは	税関、通関法を学ぶ
				19	関税の仕組みと計算1	税関、通関法を学ぶ
				20	関税の仕組みと計算2	税関、通関法を学ぶ
評価方法・成績評価基準				21	関税の納付方法	税関、通関法を学ぶ
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率) 30% ③提出物 30% ④学習意欲 10%				22	AEO制度の仕組みとメリット	税関、通関法を学ぶ
【成績評価基準】				23	送金手続きのしくみ	税関、通関法を学ぶ
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				24	信用状取引の基本	税関、通関法を学ぶ
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				25	信用状取引にかかわる機関	税関、通関法を学ぶ
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				26	信用状の種類とポイント	税関、通関法を学ぶ
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				27	信用状の買い取り手続き	税関、通関法を学ぶ
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				28	ディスクレに対応する	税関、通関法を学ぶ
				29	貨物海上保険の基本	海上保険について学ぶ
				30	保険契約時の留意点	海上保険について学ぶ
				31	貿易保険の基本	海上保険について学ぶ
実務経験教員の経歴				32	Invoice作成とL/C発行	
				33	B/L作成とサレンダーB/L発行	
				34	テスト	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	必須	1	Unit 1. Food for Life	Contrast General and Current Actions Give Details to Support Your Ideas
学年	2学年	担当教員	Mark Marin / Marcos O'Brien	2	Unit 1. Food for Life	
科目名	Speaking II	時間数	68単位時間	3	Unit 1. Food for Life	Talk about Yourself Start a Conversation Give examples
開講期間	通年	授業形態	対面・オンライン授業	4	Unit 2. Express Yourself	
使用テキスト名	WORLD ENGLISH 2			5	Unit 2. Express Yourself	Make Predictions about Your City or Town Evaluate Solutions to a Problem
補助教材				6	Unit 2. Express Yourself	
科目概要と科目到達目標				7	Unit 3. Cities	
英語で基本的なコミュニケーションが図れる能力を身につける。 自己紹介から始まり最終的には自分の意見を伝えることを到達目標とする。				8	Unit 3. Cities	
授業の進め方・学習方法・課題				9	Unit 3. Cities	Discuss Ways to Stay Healthy Talk about Healthy Lifestyles Explain an Idea Using Details
さまざまなTOPICから自分の意見を考えたうえでグループで、発表しながら基本的な形式をマスターする				10	Unit 4. The Body	
対面授業と遠隔授業の併用実施				11	Unit 4. The Body	Talk about Fasing Challenges Discuss Steps Toward a Goal Describe a Personal Challenge
				12	Unit 4. The Body	
評価方法・成績評価基準				13	Unit 5. Challenges	Talk about Different Stages in Your Life Ask Questions to Get More Information
①口頭試験50% ②授業への積極的参加20% ③課題提出物20% ④学習意欲10%				14	Unit 5. Challenges	
【成績評価基準】				15	Unit 5. Challenges	Discuss Spending Habits Talk about Different Lifestyles Set Priorities
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				16	Unit 6. Transitions	
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				17	Unit 6. Transitions	Talk about Consequences Describe a Situation Explain a Conservation Issue
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				18	Unit 6. Transitions	
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				19	Unit 7. Thing that Matter	Discuss Life in the Past Talk about How Things Were Done in the Past Describe a Historical Wonder
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				20	Unit 7. Thing that Matter	
実務経験教員の経歴				21	Unit 7. Thing that Matter	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
				22	Unit 8. Conservation	
				23	Unit 8. Conservation	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
				24	Unit 8. Conservation	
				25	Unit 9. Life Now and in the Past	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
				26	Unit 9. Life Now and in the Past	
				27	Unit 9. Life Now and in the Past	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
				28	Unit 10. Travel	
				29	Unit 10. Travel	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
				30	Unit 10. Travel	
				31	Unit 11. Careers	Talk about Organizing a Trip Use English at the Airport Discuss Travel
				32	Unit 11. Careers	
				33	Unit 11. Careers	Discuss Career Choices Talk about Career Planning Create a Personal Profile
				34	Assessment	

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	オリエンテーション	手話の基礎知識（目指すもの・評価・検定）自己紹介
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	自己紹介①	名前 あいさつ 指文字
学年	2学年	担当教員	中林幸恵	3	自己紹介②	誕生日 星座 数 年齢 指文字
科目名	手話入門	時間数	17単位時間	4	自己紹介③	年齢 月日 曜日 指文字
開講期間	後期	授業形態	対面授業	5	都道府県①	北海道～北陸地方
使用テキスト名	ゼロからわかる手話入門			6	都道府県②	関東地方～中国地方
補助教材				7	都道府県③	山陰地方～沖縄地方
				8	ゲーム	都道府県 かるた
科目概要と科目到達目標				9	検定対策 6級試験 単語を学ぶ①	6級単語と使いながらロールプレイ
手話検定試験6級取得に向けた授業展開				10	検定対策 6級試験 単語を学ぶ②	6級単語と使いながらロールプレイ
⇒基本的な手話表現力ができる あいさつ、自己紹介、趣味について相手に尋ねたり答えたりすることができる。				11	検定対策 6級試験 単語を学ぶ③	6級単語と使いながらロールプレイ
⇒更に、お店や窓口で簡単な接客の会話や日付や時刻、金額など数字の入った表現ができる。				12	聴覚障がい者の方からの授業	手話を読み取れるか？表現できるか？
				13	手話DVD「オレンジデイズ」	手話の読み取りができるか？
				14	検定対策①	6級試験問題
授業の進め方・学習方法・課題				15	検定対策②	6級試験問題
手話検定6級取得に向けて、検定対策の単語学習・ロールプレイの実施。手話も言語のひとつということから楽しく手話を学んでいく。				16	検定対策③	6級試験問題
○対面授業と遠隔授業の併用実施				17	手話検定試験6級	検定試験
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A＝秀（100－90点） 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B＝優（89－80点） 達成目標を十分に達成している				27		
C＝良（79－79点） 到達目標を達成している				28		
D＝可（69－60点） 到達目標を最低限達成している				29		
E＝不可（59点以下） 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
学科名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	選択必須	1	レクリエーション①：マフィアゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
学年	2学年	担当教員	金相範	2	レクリエーション②：ライヤーゲーム体験	オンライン上でできるレクリエーション紹介
科目名	韓国コミュニケーション実践演習	時間数	17単位時間	3	指導体験①：マフィアゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	4	指導体験②：ライヤーゲーム指導	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
使用テキスト名	なし			5	レクリエーション③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	韓国民族遊び体験
補助教材	なし			6	レクリエーション④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	韓国民族遊び体験
科目概要と科目到達目標				7	指導体験③：韓国伝統ゲーム体験(ユンノリ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				8	指導体験④：韓国伝統ゲーム体験(コンギ)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
2018年、韓国のS企業の新入社員研修のオリエンテーション(OT)で、絵を描いて見出し語を当てるゲームが行われ、新入社員2人が同音異義語を利用し、センシティブな内容を描いて物議を醸した事件が発生。解雇されることとなり、韓国の高い教育熱の裏側に、習い事ばかり強いられ、人々との付き合いの苦手な若者は多いのが現状。この授業は、コミュニケーション能力向上と韓国の文化体験を目標に、韓国の大学や企業でよくあるレクリエーションを予め体験し、さらに、習った内容を自ら教えてみることで、進路に悩む学生に「講師」というお仕事体験もできるようにする。				9	レクリエーション⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマープル)	韓国ボードゲーム体験
				10	レクリエーション⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	韓国ボードゲーム体験
授業の進め方・学習方法・課題				11	指導体験⑤：韓国ボードゲーム体験(ブルーマープル)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				12	指導体験⑥：韓国ボードゲーム体験(泥棒逮捕)	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
2週間韓国のレクリエーションを教え、2週間学生が直接講師として指導する。 チームを4組もしくは8組に分け、順番通りレクリエーションの講師として、学習した内容に基づいて指導してみる。 ボードゲームなど韓国語の知識がかなり必要なものは、アジア言語科の学生に担当させ、言語知識があまりなくてもできる授業は、他学科の学生に指導体験をさせる。				13	レクリエーション⑦：韓国大学・企業のOTでよく行うゲーム	韓国大学・企業のOTでやるゲーム体験
				14	レクリエーション⑧：韓国大学・企業のOTでよく行うゲーム	韓国大学・企業のOTでやるゲーム体験
評価方法・成績評価基準				15	指導体験⑦：韓国大学・企業のOTでやるゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
				16	指導体験⑧：韓国大学・企業のOTでやるゲーム	学生がレクリエーションを指導することで講師の仕事体験ができる
①授業への積極的参加60% ②レポート課題20% ③出席率20%				17	韓国レクリエーション講師体験で感じたことについてレポート作成	
【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-70点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない						
実務経験教員の経歴						
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	挨～牙	演習
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	瓦～嗅	演習
学 年	2学年	担当教員	阿部塊地	3	復習テスト	テスト及び解説
科 目 名	漢字検定演習	時間数	17単位時間	4	巾～喉	演習
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	乞～腫	演習
使用テキスト名	硬筆書写技能検定公式テキスト			6	復習テスト	テスト及び解説
補助教材	なし			7	呪～膳	演習
				8	狙～椎	演習
科目概要と科目到達目標				9	復習テスト	テスト及び解説
ワープロソフトで文書を作成することが多くなり、自動変換機能の支援により現代人はますます漢字が書けなくなっている。社会人のための一般教養として漢字を学び、語彙を増やすことにより豊かな表現力を養う。				10	爪～罵	演習
				11	剥～壁	演習
				12	復習テスト	テスト及び解説
				13	蔑～治	演習
				14	弥～脇	演習
授業の進め方・学習方法・課題				15	復習テスト	テスト及び解説
全ての常用漢字を理解し、文章の中で適切に使うことを目標として練習問題と暗記をくり返し、最終的には漢字検定2級合格を目指す。 対面授業と遠隔授業の併用実施				16	読み・部首・熟語・四字熟語・対義語・類義語	演習
				17	同音・同訓異字・誤字訂正・送り仮名	演習
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10% 【成績評価基準】 A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している C=良(79-79点) 到達目標を達成している D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				22		
				23		
				24		
				25		
				26		
				27		
				28		
				29		
				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

国際外語・観光・エアライン専門学校

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	プロローグ	文学作品の読み方を知る
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	第1章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
学 年	2学年	担当教員	古沢 通子	3	第1章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
科 目 名	現代文学研究	時間数	17単位時間	4	発表①	自分の考えをまとめて発表する力を養う
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	第2章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
使用テキスト名	赤と青のエスキース PHP出版社			6	第2章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
補助教材	パワーポイント スライド			7	発表②	自分の考えをまとめて発表する力を養う
科目概要と科目到達目標 2022年本屋大賞2位作品を読み解く。 先を読む力、文章を読み解く力、人の意見を聞く力、自分の考えをまとめて発表する力を養い、就職後に活かせるよう、能動的な姿勢を身につける 一冊の本を元に、物事を深く考え、自分の言葉で人に説明する力を養う。				8	第3章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				9	第3章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				10	発表③	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				11	第4章① レポート提出	文章を読み解く力を身につける
				12	第4章② レポート提出	人の意見を聞く力を身につける
				13	発表④	自分の考えをまとめて発表する力を養う
				14	エピローグ	文学作品を読み解く力を身につける
				15	定期試験 発表⑤	自分の言葉で人に説明する力を養う
				16	定期試験 発表⑥	自分の言葉で人に説明する力を養う
				17	まとめ	
18						
19						
20						
授業の進め方・学習方法・課題				21		
授業の3日前までに、決められた章(部分)を読み、解釈を200字程度のレポートで提出する。 授業時はそのレポートを元に発表、話し合いをして進めていく。 定期試験はPPTを作成し、プレゼンテーション形式で発表を行う。				22		
評価方法・成績評価基準				23		
①定期試験 30% ②授業への積極的参加(出席率)30% ③提出物 20% ④学習意欲 20%				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-79点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
				33		
				34		

				週数	学習内容	学習のねらい
				1	Itroduction to Movie Maing	Technics, examples and plot
学 科 名	日本語通訳科(2年制)	必須・選択	選択必須	2	Story-Boarding	Create Movie groups; Create a movie scenario
学 年	2学年	担当教員	マーク マリン	3	Story-Boarding Finish	Complete scenario writing
科 目 名	Making Movies	時間数	17単位時間	4	How to film from a story-board; Camera technics	Camera technics; lighting; perspective; sound
開講期間	後期	授業形態	対面・オンライン授業	5	Shoot Movie Plan; Saving Data	How to shoot scenes; save data; editing
使用テキスト名	自作PPT			6	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
補助教材	パワーポイント スライド			7	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
				8	Shooting the movie	Shoot, save and edit data
科目概要と科目到達目標				9	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
ムービー制作の基本原則を教えること。 自分のスマートフォンをムービー制作の道具として活用する方法を紹介します。				10	Reassess movie progress	Check data and sound; reshoot if necessary
				11	Complete movie shoot; gather all data	Begin final edit process; sound editing
				12	Complete movie shoot; gather all data	Continue final edit process; sound editing
				13	Adding Graphics	Learn how to add graphics; titles; credits; etc.
				14	Adding Graphics	Continue graphics; titles; credits; etc. editing
授業の進め方・学習方法・課題				15	Fianl edit; pre-showing	Check final edit and show movie; assess final product
ムービー制作のデバイスとして、各自が所有するスマートフォンを使用します。 ストーリーボードを使って映画のプロットを作成し、映画制作のタイムラインを計画する。 グラフィックは、生徒用ムービーを上映する前の最終編集で追加される予定です。				16	Fianl edit; pre-showing	Final edit and movie assessment
				17	Student Movie Festival	Show all student movies
				18		
				19		
				20		
評価方法・成績評価基準				21		
				22		
①定期試験50% ②授業への積極的参加20% ③提出物20% ④学習意欲10%				23		
				24		
【成績評価基準】				25		
A=秀(100-90点) 到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めた				26		
B=優(89-80点) 達成目標を十分に達成している				27		
C=良(79-70点) 到達目標を達成している				28		
D=可(69-60点) 到達目標を最低限達成している				29		
E=不可(59点以下) 到達目標に達成していない				30		
				31		
実務経験教員の経歴				32		
Teacher has extensive experience with movie making and sound production.				33		
また、映画制作や音響制作の講師としても経験を積んでいる。				34		